

二年生 国語 学習プリント



二年 組 名前

古典 随筆「枕草子」 作者 清少納言

教科書 P 32 ~ 33

1 作者について、教科書の「作者」の説明を参考にして、まとめよう。

作者名	時代	仕えた人
-----	----	------

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて、歴史的仮名遣いを確認しよう。

- ① やうやう () () ()
- ② 山ぎは () () ()
- ③ 闇もなほ () () ()
- ④ をかし () () ()
- ⑤ 飛びちがひたる () () ()
- ⑥ いと近ちかう () () ()
- ⑦ 飛びいそぐさへ () () ()
- ⑧ あはれなり () () ()
- ⑨ 言ふべきにあらず () () ()
- ⑩ 火ひ桶け () () ()

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり、辞書で調べたりして確認しよう。

① あけぼの	② やうやう
③ さらなり	④ なほ
⑤ をかし	⑥ いと
⑦ あはれ	⑧ まいて
⑨ つとめて	⑩ さらでも
⑪ つきづきし	⑫ わろし

○作者の四季の対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べよう。

4 教科書下段の現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と、好きなものや様子について、季節ごとにまとめよう。

季節	時間帯
春	明け方
夏	
秋	
冬	

好きな 「風情がある」 「趣がある」 「趣深い」 「よい」もの	（
・山ぎわが（	）
・月が（	）
・蛍が（	）
・雨が（	）
・鳥が（	）
・雁などが（	）
・日が（	）
・雪が（	）
・霜が（	）
・たいそう寒いときに、（	）

5 作者の表現のしかたや作品の特徴について、気付いたことや教科書の「出典」を参考にまとめよう。

子 草 枕
作者の表現のしかた・作品の特徴

📖 P 278 「古典の世界を広げる」も参考に見ましよう。

6 「枕草子」を参考にして、自分の好きな時間帯や好きなものを、季節ごとに書き出してみよう。
 (例…その季節らしい食べもの・行事・植物・動物・天候・身の回りのものなど。)

冬	秋	夏	春	季節
				時間帯
				好きなものや様子

7 作品の中に出てくる、次の漢字を書こう。

■	■
□	□
おもむき	むらさき
がある	だちたる
■	■
□	□
しも	ほたる
のいと白きも	の多く飛びちがひたる

二年生 国語 学習プリント

二年 組 名前



古典 随筆「枕草子」 作者 清少納言

教科書P 32 ～ 33

1 作者について、教科書の「作者」の説明を参考にして、まとめよう。

作者名 清少納言	時代 平安時代	仕えた人 中宮定子
-------------	------------	--------------

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて、歴史的仮名遣いを確認しよう。

- ① やうやう (ようよう) (やまぎわ) (やみもなお) (おかし)
- (とびちがいたる) (いとちこう) (とびいそぐさえ)
- ⑤ 飛びちがひたる (いと近う) (飛びいそぐさへ)
- (あわれなり) (いふべきにあらず) (ひおけ)
- ⑧ あはれなり (言ふべきにあらず) (火桶)
- ⑨ (やまぎわ) (やみもなお) (おかし)
- ⑩ (とびいそぐさえ)

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり、辞書で調べたりして確認しよう。

① あけぼの	明け方	② やうやう	だんだんと
③ さらなり	言うまでもない	④ なほ	やはり
⑤ をかし	いい・趣深い	⑥ いと	とても・たいそう
⑦ あはれ	おもしろい	⑧ まいて	まして
⑨ つとめて	早朝	⑩ さらでも	そうでなくても
⑪ つきづきし	似つかわしい	⑫ わろし	好ましくない

○作者の四季の対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べよう。

4 教科書下段の現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と、好きなものや様子について、季節ごとにまとめよう。

季節	時間帯	好きな「風情がある」「趣がある」「趣深い」「よい」もの
春	明け方	・山ぎわが（少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている様子）
夏	夜	・月が（出ている様子） ・蛍が（多く飛びかっている様子） ・螢が（ほんのー、二匹ほのかに光って飛んでいく様子） ・雨が（降る様子）
秋	夕暮れ	・鳥が（ねぐらへ行くため、三、四羽、二、三羽などと飛び急ぐ様子） ・雁などが（列を作っているのが、たいそう小さく見える様子） ・日が（すっかり沈み、風の音や虫の音などがする様子）
冬	早朝	・雪が（降っている様子） ・霜が（真っ白な様子） ・たいそう寒いときに、（火を急いでおこして、炭を持っていく様子）

5 作者の表現のしかたや作品の特徴について、気付いたことや教科書の「出典」を参考にまとめよう。

枕草子	作者の表現のしかた・作品の特徴
	例：季節のよさを、一日の中の好きな時間帯から感じている。 例：一瞬の美しさが具体的に、想像しやすく表現されている。 例：簡潔な文章だが、鋭い視点から季節のよさが描かれている。

6 「枕草子」を参考にして、自分の好きな時間帯や好きなものを、季節ごとに書き出してみよう。
 (例: その季節らしい食べもの・行事・植物・動物・天候・身の回りのものなど。)

季節	春	夏	秋	冬
時間帯	自分の好きな時間帯を記入			
好きなものや様子	例: 花見・卒業式・入学式 団子・ピクニック・筍(たけのこ) うきうきする気持ち・期待と不安	例: 花火・海・祭り・キャンプ バーベキュー・かき氷 ワクワクする気持ち・開放的	例: 紅葉・運動会・ドライブ 栗・山菜料理・落ち葉 キュンとする気持ち・人恋しさ	例: 雪・霜柱・氷 鍋・おでん・こたつ ブルブルする様子・寂しさ

7 作品の中に出てくる、次の漢字を書こう。

■ 趣 おもむき がある	■ 紫 おもむき だちたる
■ 霜 しも のいと白きも	■ 蛍 ほたる の多く飛びちがひたる

